貴族と奴隷の入れ替わり
～全てを手に入れた男～
完全版

本書の楽しみ方

TS要素を最大限に楽しんでいただく為、二人が絡むHシーンを
下記のようにそれぞれの視点(POV)から描いております。
その為、見開き表示での閲覧をおすすめしております。
もちろん、単一ページでの閲覧も可能です。

複数の環境下で確認を行っておりますが、
万が一、ページレイアウトが崩れるという事が
ございましたら閲覧環境をご報告いただけると嬉しいです。

連絡先
twitter:@iwashitan
mail:info@iwashitan.com

女性(中身男性)視点

男性(中身女性)視点

貴族と奴隷の入れ替わり
～全てを手に入れた男～

Pov.ver

私は王家に仕える由緒ある「トラウ家」の出身だった。
ある日、お父様は謀反の疑いをかけられ

極刑は免れたものの流罪。
そして、トラウ家は没落した。

何者かの謀略である事は間違いないのに
私の力ではどうする事もできなかった。
路頭に迷い、気づけば
私は
奴隷になっていた――

私の主は
お父様のライバルと
称された
「イワシーロ卿」だった。

しばらく見ない間に
こんなにも
みすぼらしいお姿に！

これはこれは。
ラナ嬢。

さぞ
大変だったでしょう。

これからは、
ワシが面倒を
見てあげるから
安心しなさい。

……ありがとうございます。
イワシーロ卿。

それにしても
その格好は
いけませんな。
奴隷とはいえ
こんな姿で
働かせたくはない。
おお。
これはこれは。
おい！
はっ！
なんという恥辱。
こんな男の前で
裸体を晒し
そして

さすがに美しい。
この国随一の美女と謳われるだけの事はある。ふひひ。
ふひ。仕事にも色々種類があるからの。
お前は黙ってワシの命令に従っていればよいのだ。
あの……この格好ではお仕事に支障が……。
このような姿を……！
もうすぐこの身体がワシのものに。
ポン
ふひ。ふひひ。
何を言ってるの……？

ところでラナ嬢。
知っておるか？

この世には
表に出ていない

魔術というものが
存在するのだが

――その中に

身体を入れ替える
契約魔術というものがある。

まさか……？

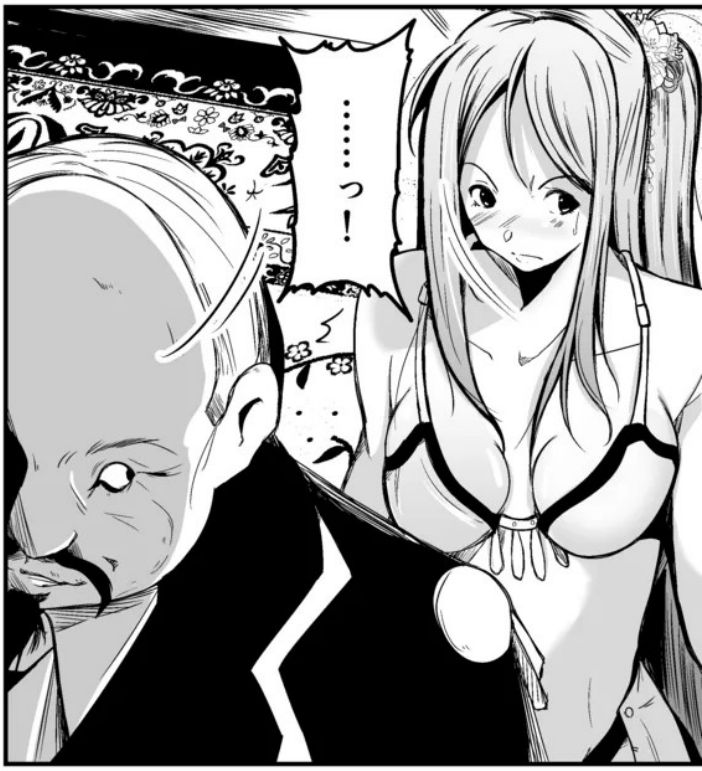
さて、ラナ嬢。
これから契約の元、

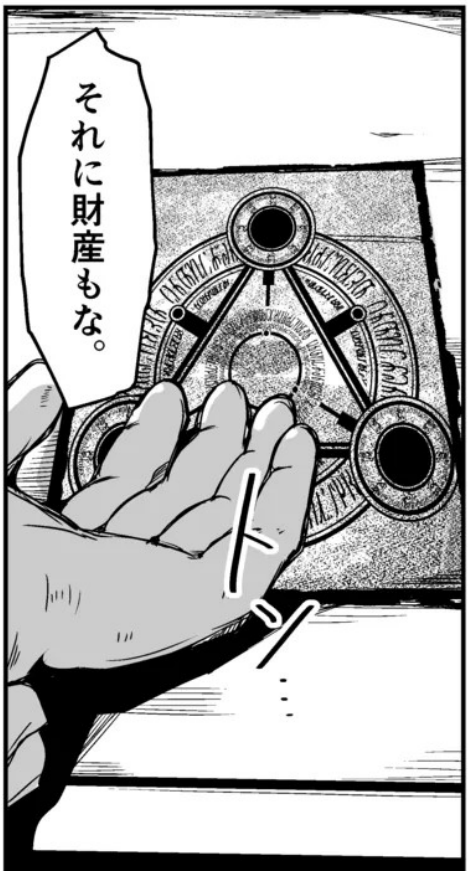
互いの身体を
入れ替える。

ワシがラナ嬢に。
ラナ嬢はワシに
なるのだ。

そんな！
それはできません！
奴隷のお前は
ワシの命令を
拒否できない。
そのくらい
わかるだろう？

それにそんなに
悲観する事もないぞ。


……っ！


それに財産もな。
ドッ…

お前がワシに
なるという事は、
ワシを奴隷として
好き勝手
使えるという事。

何故、財産も立場も放棄してまで私と……？
契約上、立場の変更は身体交換を行った14日後に履行される。
それまでは我慢していただく事になるが
それでも悪い話ではなかろう？
女の快感を知りたい。
全ての財を失ってでも……だ。
――えっ!?

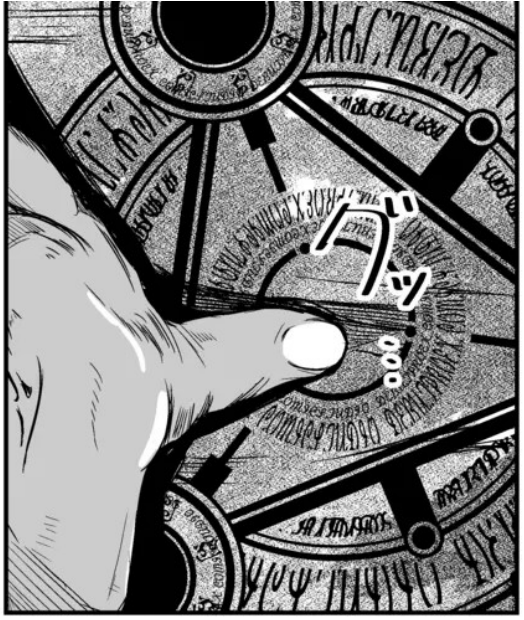
それに
ワシは女の容姿が
好きだ。
自分の醜い体を
捨てて女になりたいと
常に願っておった。

今まであらゆる女を
抱いたが
どの女も
気持ちよさそうに
よがる。
声が漏れる程に……
そんなにも
気持ちが良いのか？
女というものは。
だから女の快感を
知ってみたい。

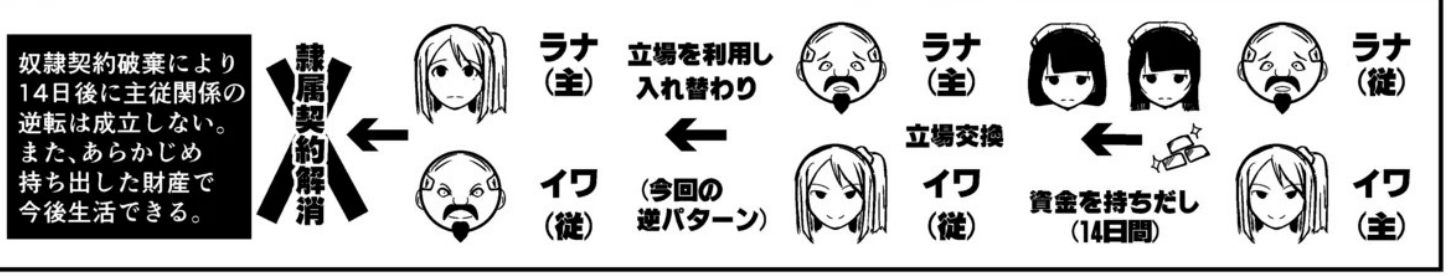
それだけの為に？
それだけの為？

女の……しかも
絶世の美女と言われた
お前にはわかるまい！
財だけでは
どうにもならないものが
あるという事を！

さあ。貴女の番だ。
拒否はできんぞ。
……っ!!


グッ…

ラナ様。
不本意でしょうが
一旦は
受け入れてください。
必ず元に戻れます。
14日後、
立場が入れ替わった後に
今度はあなたが
同様の事を行います。
そして、
すぐに奴隷契約を
破棄するのです。
そうすれば、あの御方は
あなたの身体を
手に入れられない。
それどころか、
あの御方の財産を
すべて持ち出すことも可能です。
お手伝いいたします。
信じてください。
我々も、
あの御方には我慢の限界なのです。
ヒソ
ヒソ
――!?


ラナ
(従)
イワ
(主)
資金を持ちだし
(14日間)
ラナ
(主)
立場交換
イワ
(従)
立場を利用し
入れ替わり
(今回の
逆パターン)
ラナ
(主)
イワ
(従)
隷属契約解消
奴隷契約破棄により
14日後に主従関係の
逆転は成立しない。
また、あらかじめ
持ち出した財産で
今後生活できる。

悩んでも仕方ない。
選択肢は
ないのだから……。
……わかりました。
受け入れます。
ツ…
トッ
ふひ。

ガッ
ドドドドド
ズズズズ
ふひ！
ふはははははははっ!!

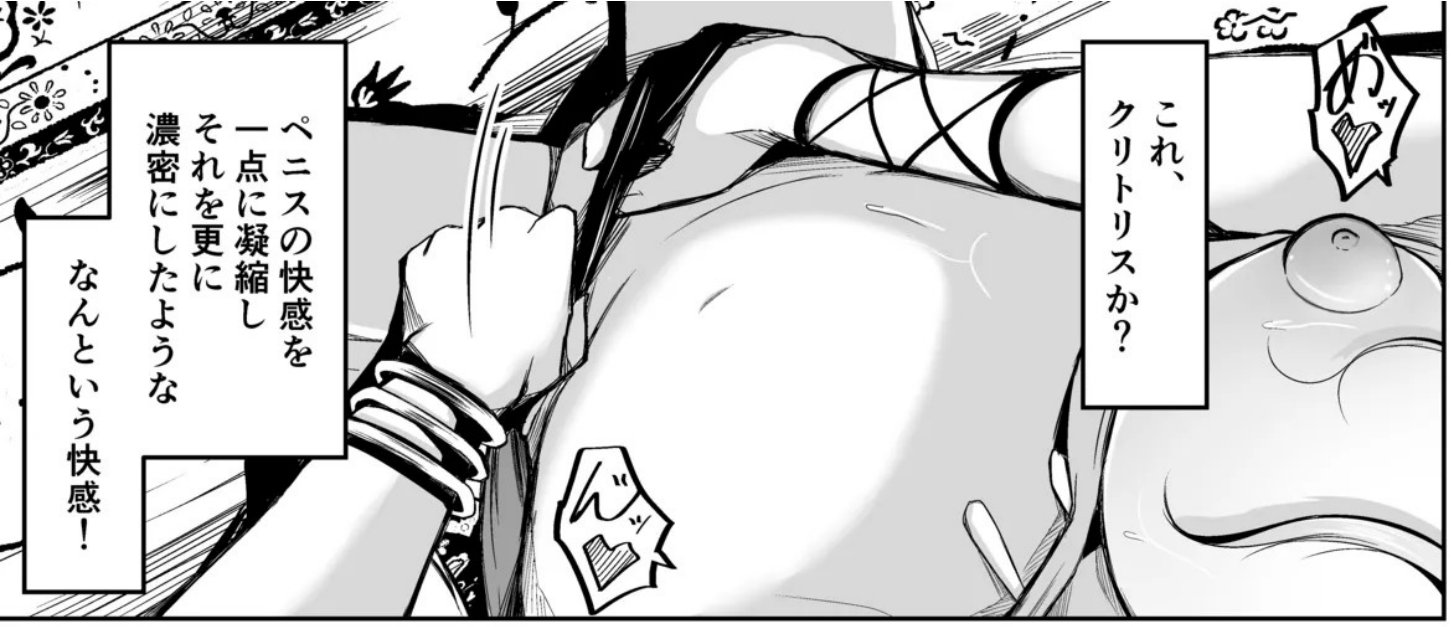
こ……これは？
もう一人
私がいる……？
魂と肉体が
分離したのだよ。
そして……
スススス

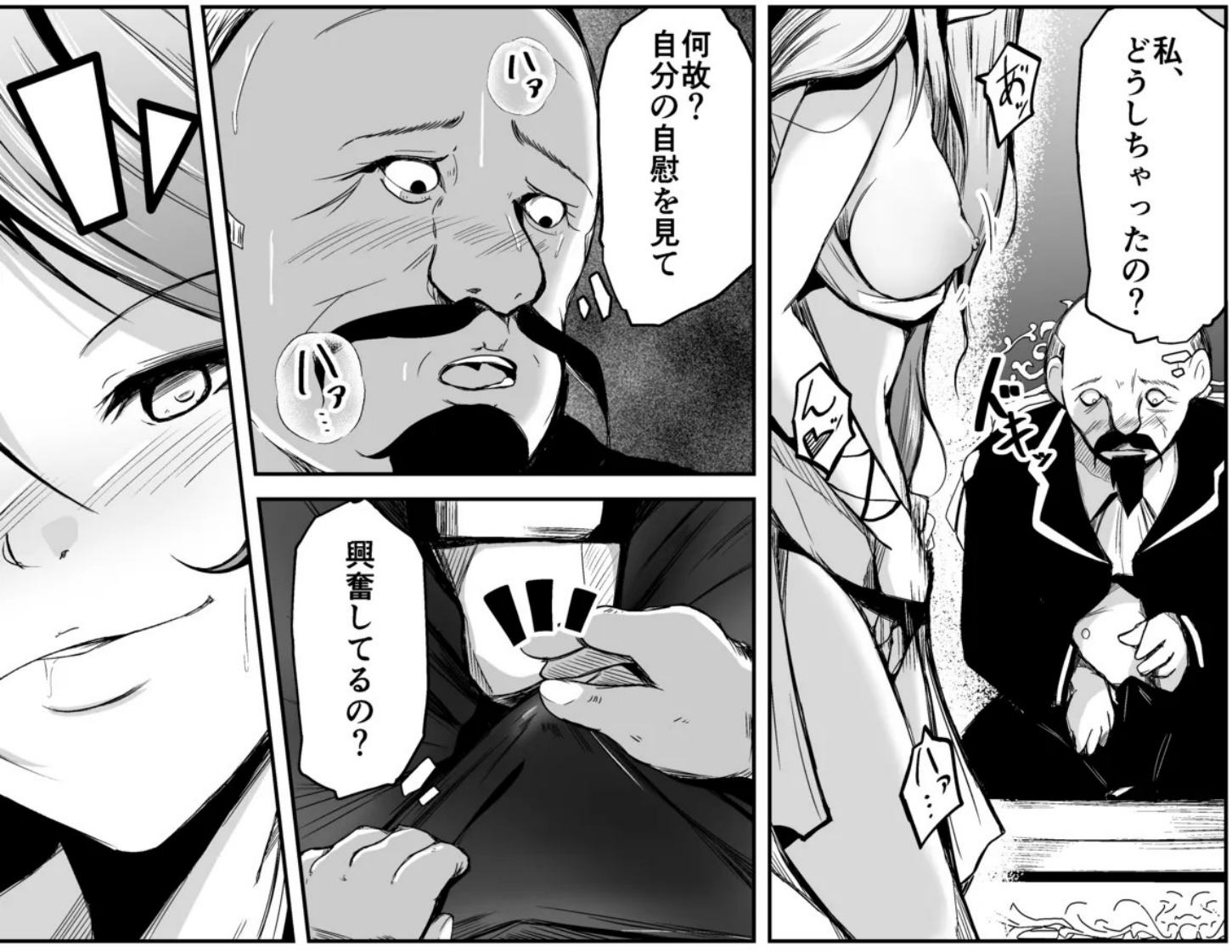
ワシの魂はお前の身体に！
ズズズ
お前はワシの身体に！
引き寄せられている？
ズオオオオ…
ズズズズズズ

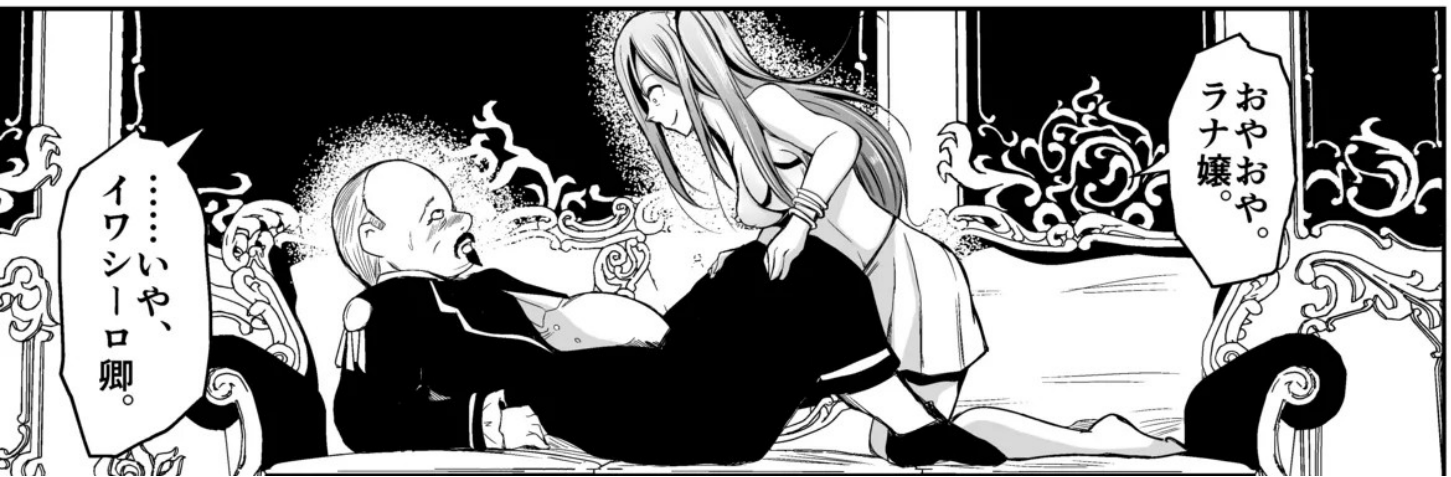
フッ…
ふひ。
フ…ッ…
ぐぃ

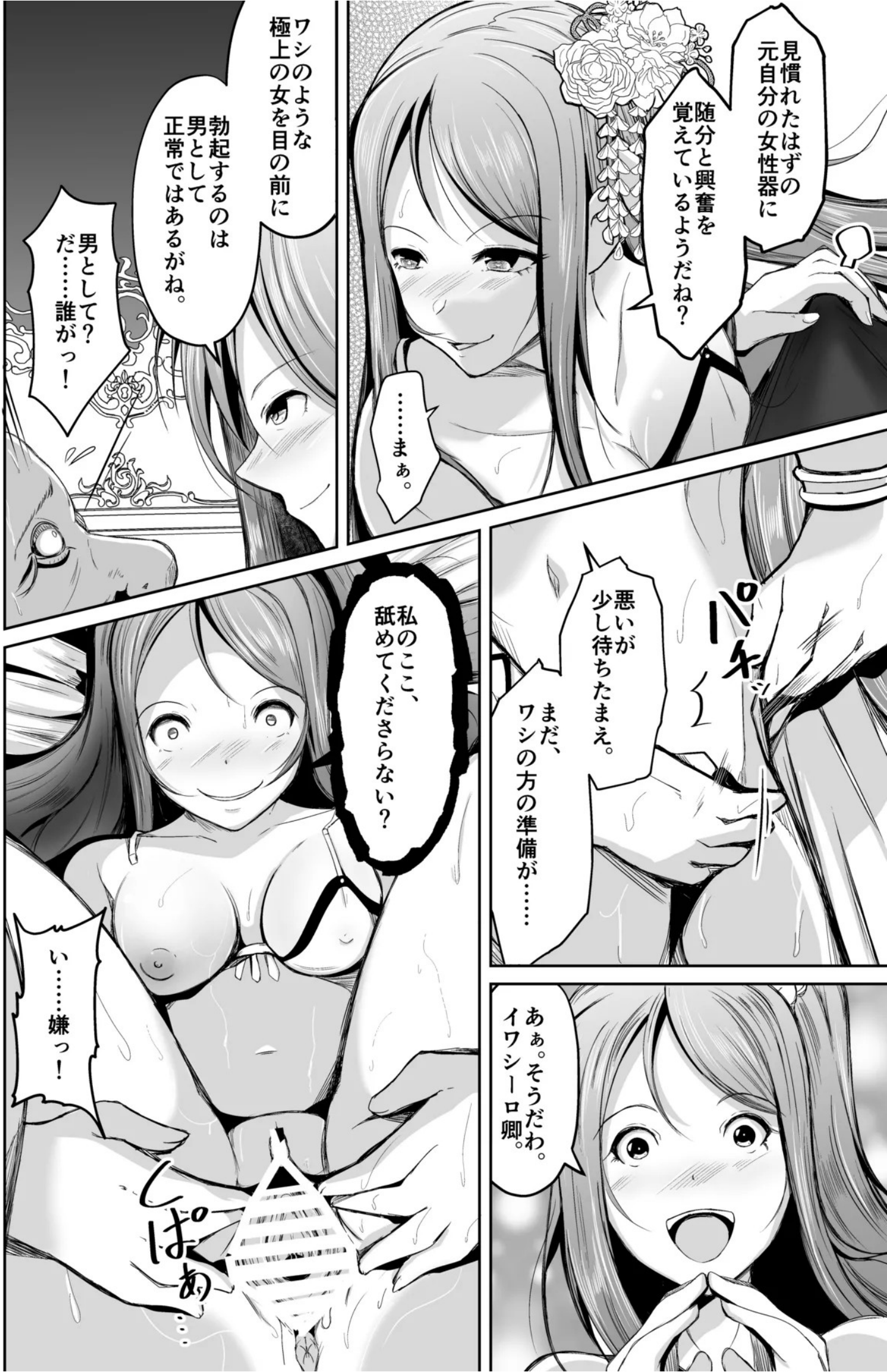
はぁ。
これが女の……
スラリと伸びた脚
程よい弾力の胸
ワシの憧れた
ラナ嬢の身体。
そして……

これが女性器……。
ついに自分のものに。
ハァ
ふひ。
ドキ
ドキ
ハァ
きゅん♡
きゅん♡
ワシは本当に
女になったのだな。
や……やめて。
クリッ
はっあああああっ！
ガク

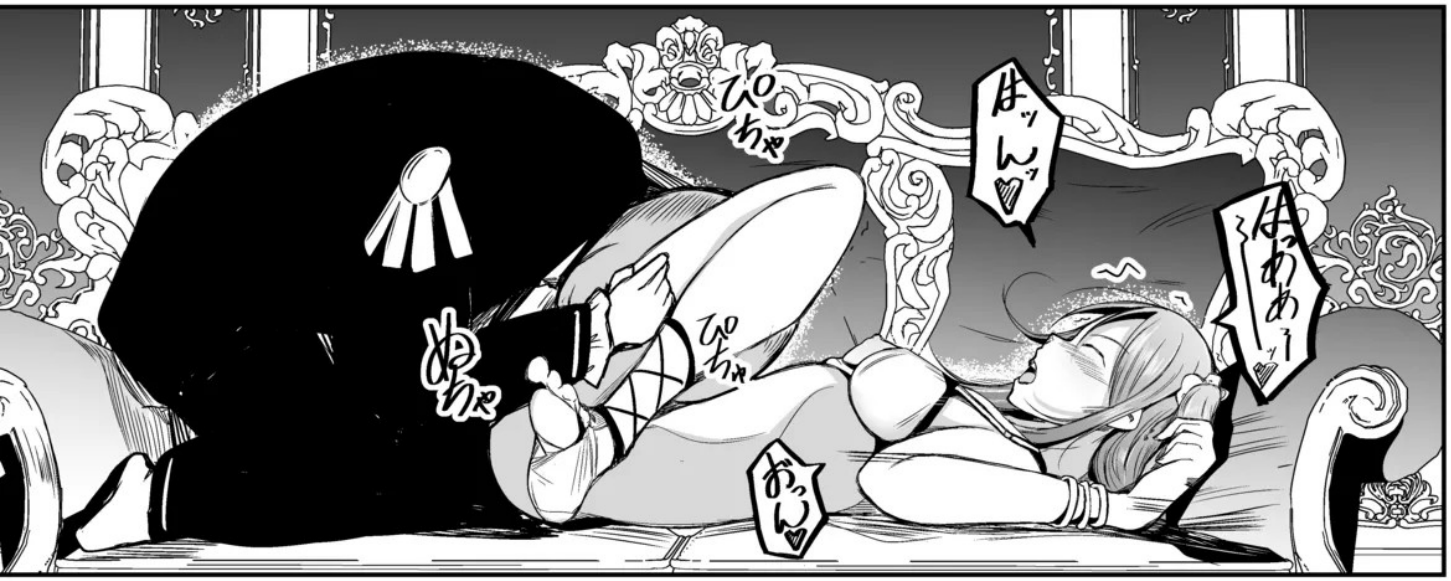

これ、
クリトリスか？
ペニスの快感を
一点に凝縮し
それを更に
濃密にしたような
なんという快感！


私、
どうしちゃったの？
何故？
自分の自慰を見て
興奮してるの？


おやおや。
ラナ嬢。
……いや、
イワシーロ卿。


見慣れたはずの
元自分の女性器に
随分と興奮を
覚えているようだね？
……まぁ。
ワシのような
極上の女を目の前に
勃起するのは
男として
正常ではあるがね。
男として？
だ……誰がっ！
パイズリ
悪いが
少し待ちたまえ。
まだ、
ワシの方の準備が……
私のここ、
舐めてくださらない？
い……嫌っ！
しぱあ
あぁ。そうだわ。
イワシーロ卿。

命令だ。
舐めろ。
わ……
わかりました。
どうして
こんな事に。


ぴちゃ
はッん♡
はぁあぁ～♡
ぬろ
ぴちゃ
おっん♡

ハァ～
ガク
ハァ～
ガク
た……たまらぬ！
先程とは異なる快感っ！
じゅぶぶぶぶ
ぬ♡
ぐぐぐぐ～
ぐぐぐ～
ぐぐぐ～♡
じゅぶぶぶぶ
はーっ
はーっ
カチャ

一体何をしているんだね？
ピクッ
私、一体何を？

ククク。随分とワシの身体気に入ったようだね。
違う……！これは……っ！

嘘？私、コイツが言う通り
違わない。お前は男として

自分自身を――
女（ワシ）を犯したいと思っておる。

ハッ
一体何をしているんだね？

ククク。
随分とワシの身体気に入ったようだね。
違う……！これは……っ！
ククク。
コイツもしかして
女（ワシ）を犯したいと思っておる。
はーっ
はーっ
虜になっておるな？

初めて味わう異性の性感の
違わない。お前は男として

ククク。
心配せずとも
このままじゃ私、
本当に自分自身を
なのに何で……
これからワシの身体を
嫌……っ！
存分に……んっ……
楽しませてやるわ。
何で
ククク。
入ったぁ……っ……♥
抵抗できないの？

ククク。
心配せずとも
はーっ
はーっ
嫌……っ！
これからワシの身体を
存分に……んっ……
楽しませてやるわ。
ズッ
勃起したペニスの
熱が段々と
内側に浸透していく！
ククク。
入ったぁ……っ……♥
ハァっ
ハァっ
熱い！
ああっ！これが
挿れらる感覚っ！

何これ？
股間が温かい。
まるで男性器（わたしのもの）を
受け入れるように
吸い付いていく。
あひっ♥
んっ……
……あぁっ♥
ハッ
ぐッ
んぁ
パーン
パーン
ハァ…
ズブ
もうダメ。
我慢できないっ！

最初は
痛み、異物感。
だが、
それは徐々に薄れ
男性器を迎え入れる為、
順応していく。
その過程で膣が
キュっと締まり
その際に
押し寄せる快感は
ズプッ
ズプッ
おッ

男には想像もできない
至上のものであり
更に乳房の柔らかさも
相まって
何も考えられ……？
ハッ
ハッ
パン
パン
ギュ
ムニッ
ガクッ

ああ。
なんて柔らかい！
ビク
ほあ
イィ
ぉ゛ッ
自分のタイミングで
動きたい！
パン
パン
あっ♥
んあっ……♥
なんて艶やかな声！
れろ
全てが男（ワタシ）の本能を
刺激するっ！
ヌヌ…
ドロォ
もっと！
もっと見せて！
ビク
ゲィ

激しいっ！
だが、自分の意図しないタイミングで
突きあげられるのもたまらぬ！
もっと！もっと突いてくれ！
……？何故止める？

私の全てを……！
あなた
んぐ♡
あ♡
何かくるっ！
股間が熱く……
パーン
パーン
パーン
これが男性の欲望、
そして快感なの？
出せ！
膣内に出せっ！
ワシも
イキそうだっ！
私、何で自ら
こんな事を？
……んっ♥
いや……ダメ！

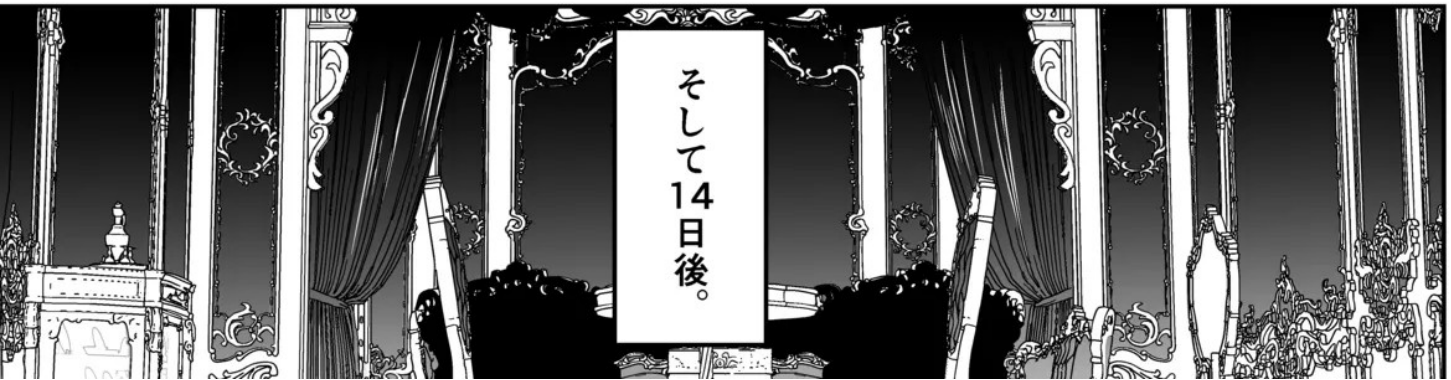
今度は後ろから!?
挿入る角度でも
感じ方が違うのか!
ぐぐーっ♥
ハァ…
ん♥
何かくるっ!
股間が熱く……
あッ♥
いや……ダメ!
女の身体……
凄すぎるっ!
出せ!
膣内に出せっ!
ワシも
イキそうだっ!
あッ♥
ん♥

これが夢見た女の絶頂！
んッ♥
ビク
あ♥
私、なんて事を……。

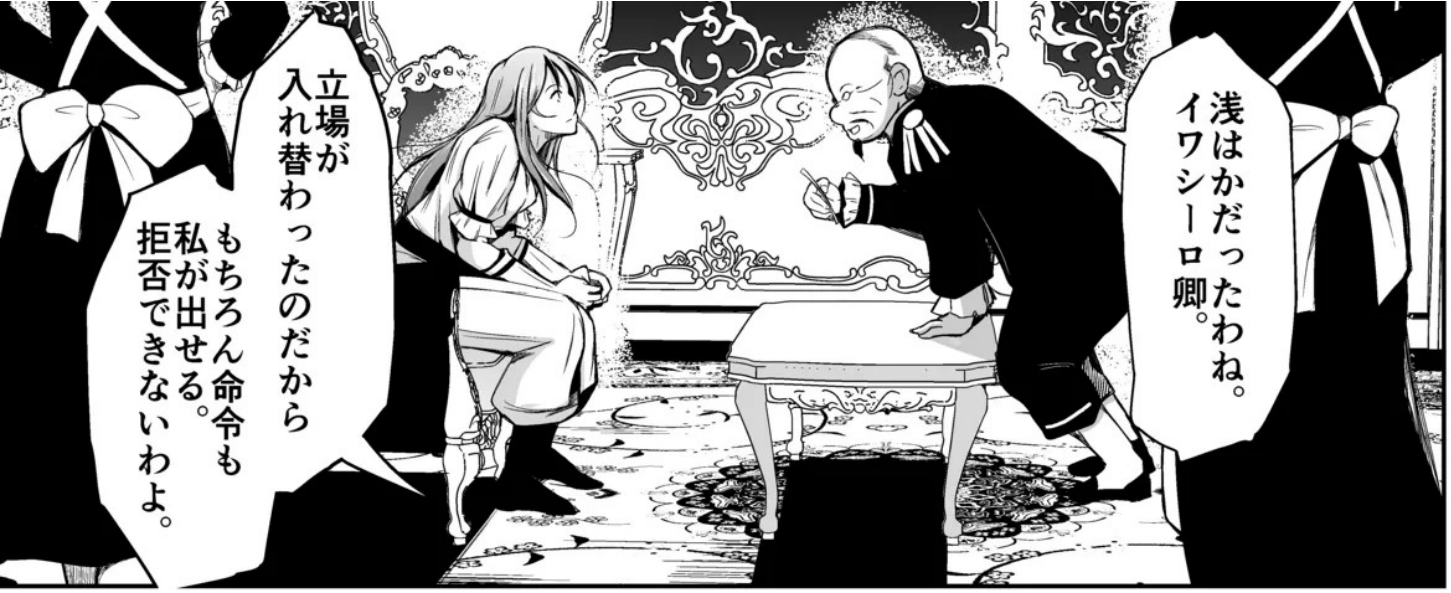
あの時、私は
どうかしていた。
一瞬でも男としての
欲望に溺れ
自分自身を
汚してしまった事を
酷く後悔した。

アイツの目を盗んで
財産をお父様の
元へと流した。

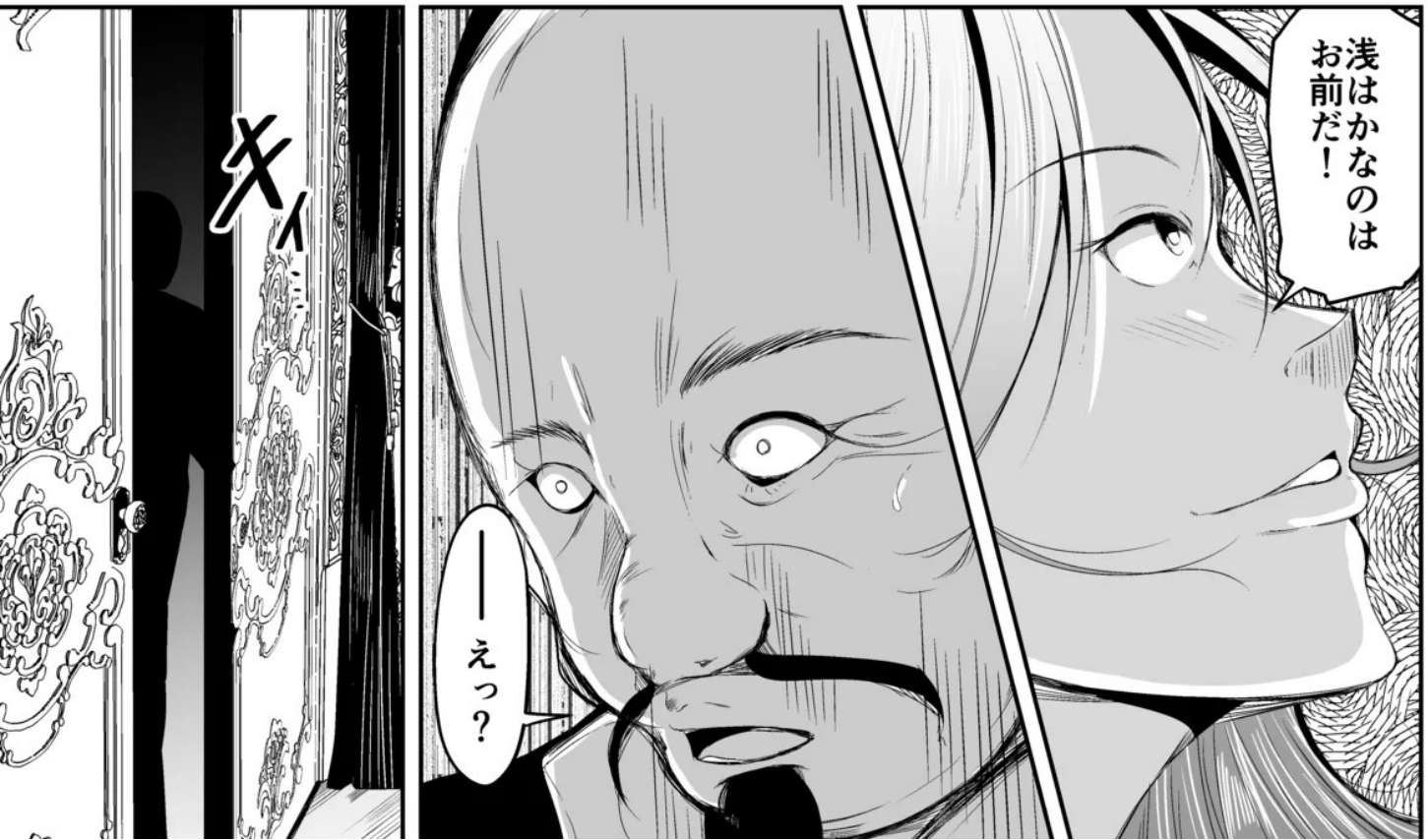
しかし今は
過ぎたことを
悔やんでいる
時間はない。
メイド達と連携し
私は


そして14日後。

これで主従関係も入れ替わりね。
私が名実ともに主人。
そうだな。
それでは早速命令をさせてもらうわ。
私と体を入れ替えなさい。
――なっ！


浅はかだったわね。
イワシーロ卿。
立場が
入れ替わったのだから
もちろん命令も
私が出せる。
拒否できないわよ。

ククク。
流石は
世間知らずの
お嬢様だな。


浅はかなのは
お前だ！
――えっ？
キィ

イワシーロ卿。
あなた様に国家転覆罪の容疑がかかっております。
クーデターを起こそうとしていた証拠が見つかりました。
そして、その罪をトラウ卿へ擦り付けていたことが発覚しました。
お父様に？
身体を交換されたのです！
ハッ
違う！私はイワシーロ卿じゃない！
アイツが本物のイワシーロ卿です！
そんな嘘が通用するとでも？

例え主従関係にあろうと、
容疑者の命令は
断る権利があります。
よって、
イワシーロ卿。
先ほどのあなたの命令
私は聞けません。

待って
そこのメイドに
聞いてください！
真相がわかります！
妙なことを
仰いますね。
そのメイド達が
言っているのですよ。
貴方がクーデターを
画策していると。

貴方たち最初から
これが狙いで！

連れていけ！
はっ！
いやっ！
やめてっ！

――「金」
ワシはアイツが
送った財産を回収し

そして
イワシーロ家が
没落した事で
その地位をより
強固なものとする。
無実の罪が証明された
トラウ卿は復権。

そして「美貌」――

「名誉」「家柄」

ただいま！
お父様！お母様！
全てを手に入れた！

貴族と奴隷の入れ替わり
～全てを手に入れた男～

Normal.ver

私は王家に仕える由緒ある「トラウ家」の出身だった。
ある日、お父様は謀反の疑いをかけられ

極刑は免れたものの流罪。
そして、トラウ家は没落した。

何者かの謀略である事は間違いないのに
私の力ではどうする事もできなかった。
路頭に迷い、気づけば
私は
奴隷になっていた――

私の主は
お父様のライバルと
称された
「イワシーロ卿」だった。

しばらく見ない間に
こんなにも
みすぼらしいお姿に！

これはこれは。
ラナ嬢。

さぞ
大変だったでしょう。

これからは、
ワシが面倒を
見てあげるから
安心しなさい。

……ありがとうございます。
イワシーロ卿。

それにしても
その格好は
いけませんな。
奴隷とはいえ
こんな姿で
働かせたくはない。
おお。
これはこれは。
おい！
はっ！
なんという恥辱。
こんな男の前で
裸体を晒し
そして

さすがに美しい。
この国随一の美女と謳われるだけの事はある。ふひひ。
ふひ。仕事にも色々種類があるからの。
お前は黙ってワシの命令に従っていればよいのだ。
あの……この格好ではお仕事に支障が……。
このような姿を……！
もうすぐこの身体がワシのものに。
ポン
ふひ。ふひひ。
何を言ってるの……？

ところでラナ嬢。
知っておるか？

この世には
表に出ていない

魔術というものが
存在するのだが

――その中に

身体を入れ替える
契約魔術というものがある。

まさか……？

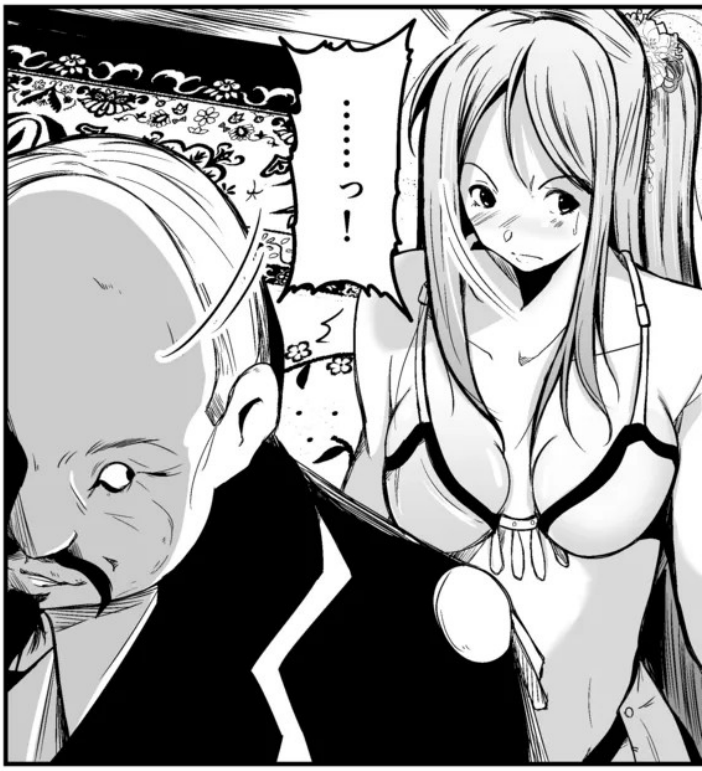
さて、ラナ嬢。
これから契約の元、

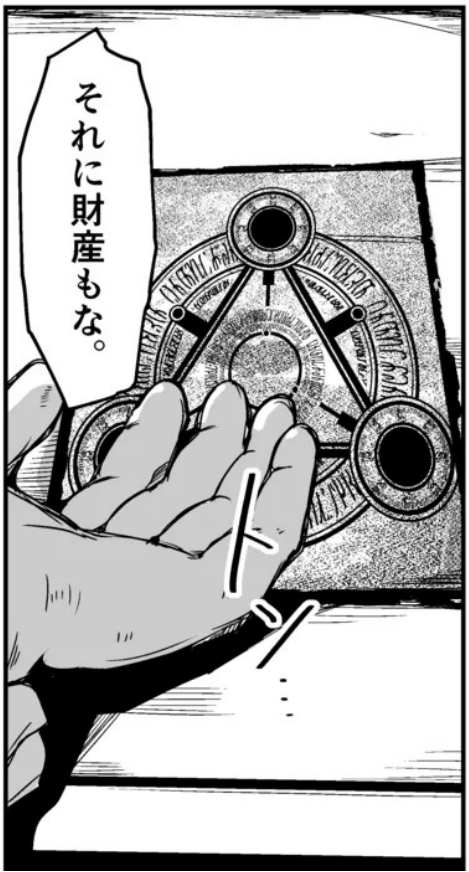
互いの身体を
入れ替える。

ワシがラナ嬢に。
ラナ嬢はワシに
なるのだ。

そんな！
それはできません！
奴隷のお前は
ワシの命令を
拒否できない。
そのくらい
わかるだろう？

それにそんなに
悲観する事もないぞ。


……っ！


それに財産もな。
ドッ…

お前がワシに
なるという事は、
ワシを奴隷として
好き勝手
使えるという事。

何故、財産も立場も放棄してまで私と……？
契約上、立場の変更は身体交換を行った14日後に履行される。
それまでは我慢していただく事になるが
それでも悪い話ではなかろう？
女の快感を知りたい。
全ての財を失ってでも……だ。
――えっ!?

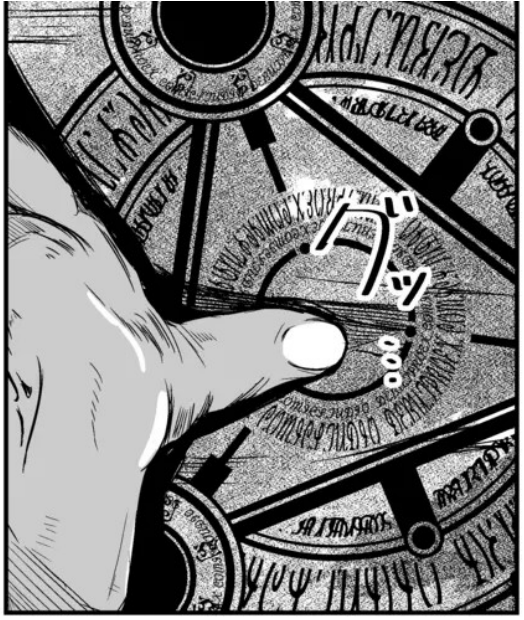
それに
ワシは女の容姿が
好きだ。
自分の醜い体を
捨てて女になりたいと
常に願っておった。

今まであらゆる女を
抱いたが
どの女も
気持ちよさそうに
よがる。
声が漏れる程に……
そんなにも
気持ちが良いのか？
女というものは。
だから女の快感を
知ってみたい。

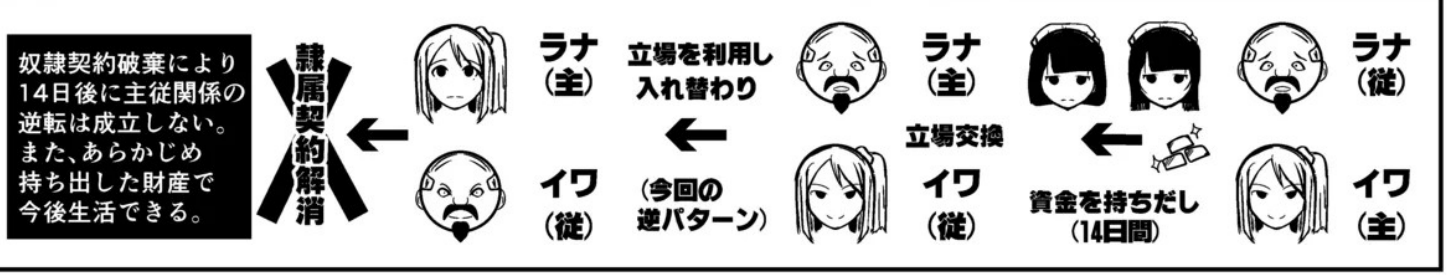
それだけの為に？
それだけの為？

女の……しかも
絶世の美女と言われた
お前にはわかるまい！
財だけでは
どうにもならないものが
あるという事を！

さあ。貴女の番だ。
拒否はできんぞ。
……っ!!


グッ…

ラナ様。
不本意でしょうが
一旦は
受け入れてください。
必ず元に戻れます。
14日後、
立場が入れ替わった後に
今度はあなたが
同様の事を行います。
そして、
すぐに奴隷契約を
破棄するのです。
そうすれば、あの御方は
あなたの身体を
手に入れられない。
それどころか、
あの御方の財産を
すべて持ち出すことも可能です。
お手伝いいたします。
信じてください。
我々も、
あの御方には我慢の限界なのです。
ヒソ
ヒソ
――!?


ラナ
(従)
イワ
(主)
資金を持ちだし
(14日間)
ラナ
(主)
立場交換
イワ
(従)
立場を利用し
入れ替わり
(今回の
逆パターン)
ラナ
(主)
イワ
(従)
隷属契約解消
奴隷契約破棄により
14日後に主従関係の
逆転は成立しない。
また、あらかじめ
持ち出した財産で
今後生活できる。

悩んでも仕方ない。
選択肢は
ないのだから……。
……わかりました。
受け入れます。
ツ…
トッ
ふひ。

ガッ
ドドドドド
ズズズズ
ふひ！
ふはははははははっ!!

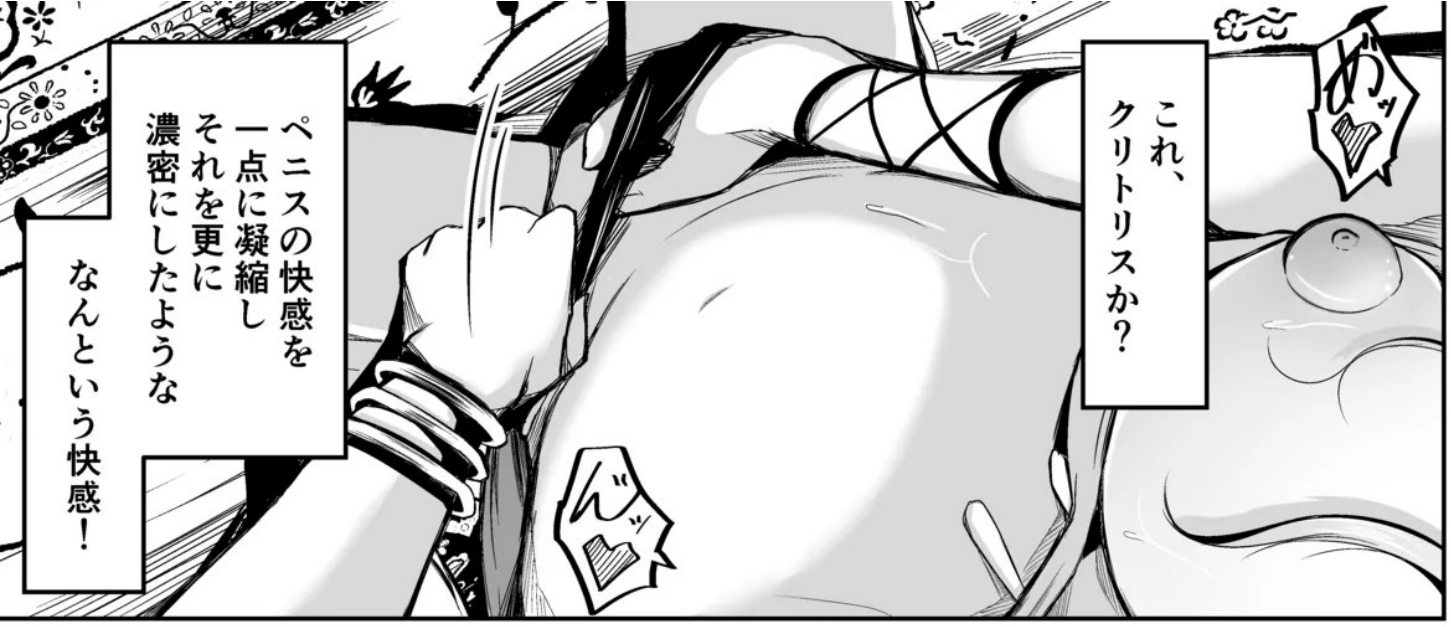
こ……これは？
もう一人
私がいる……？
魂と肉体が
分離したのだよ。
そして……
スススス

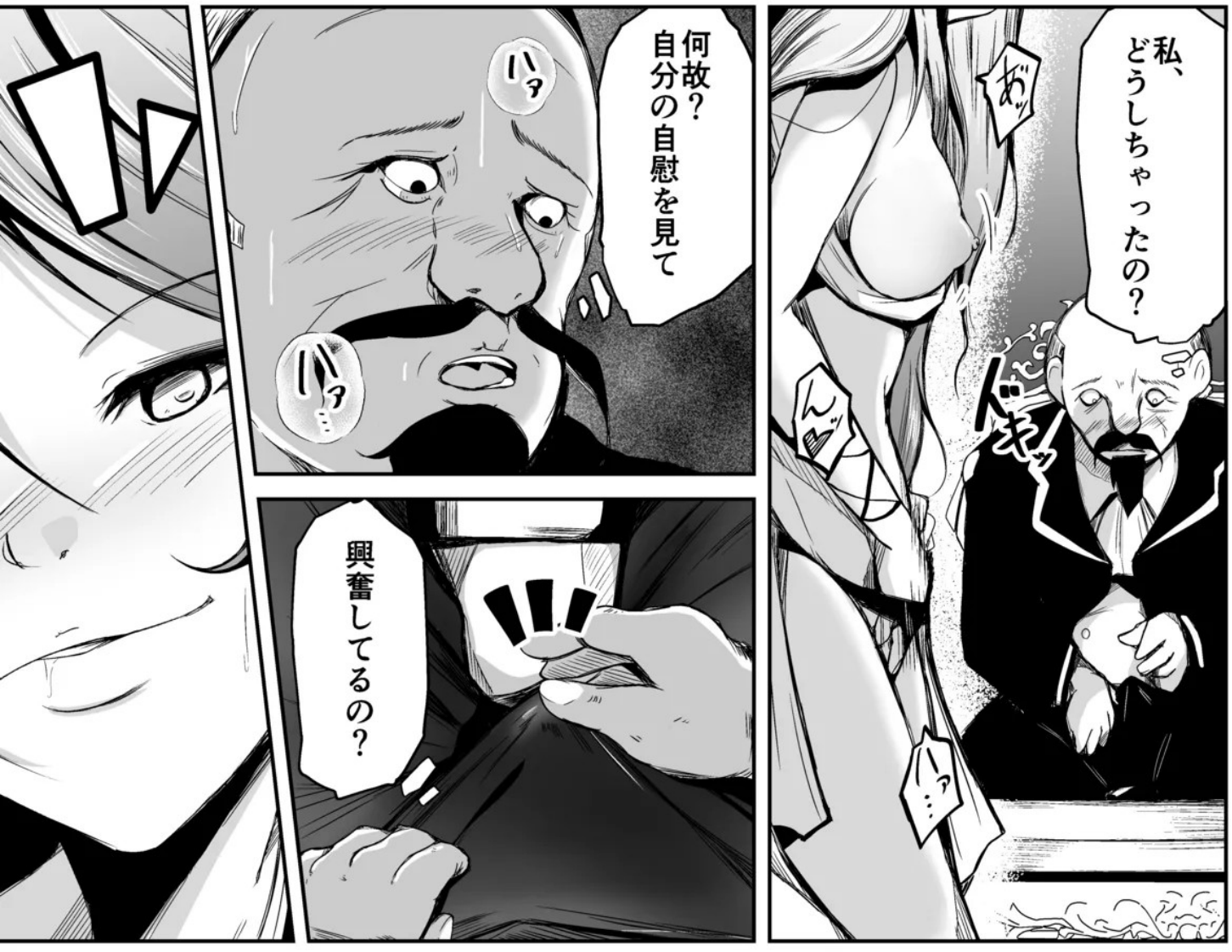
ワシの魂はお前の身体に！
ズズズ
お前はワシの身体に！
引き寄せられている？
ズオオオオ…
ズズズズズズ

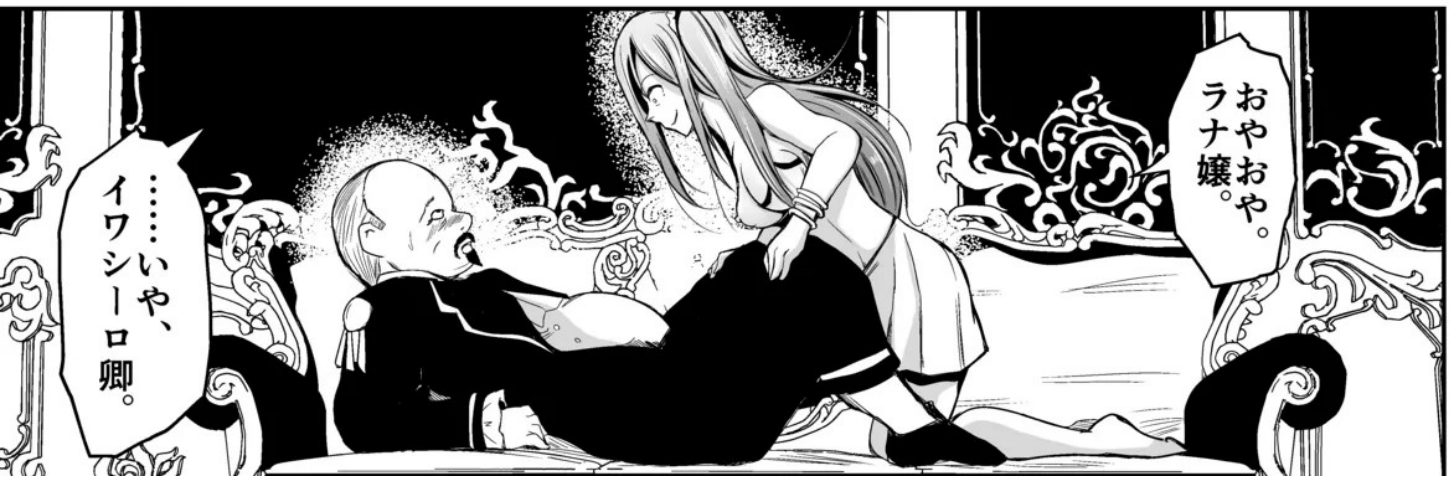
フッ…
ふひ。
フ…ッ…
ぐぃ

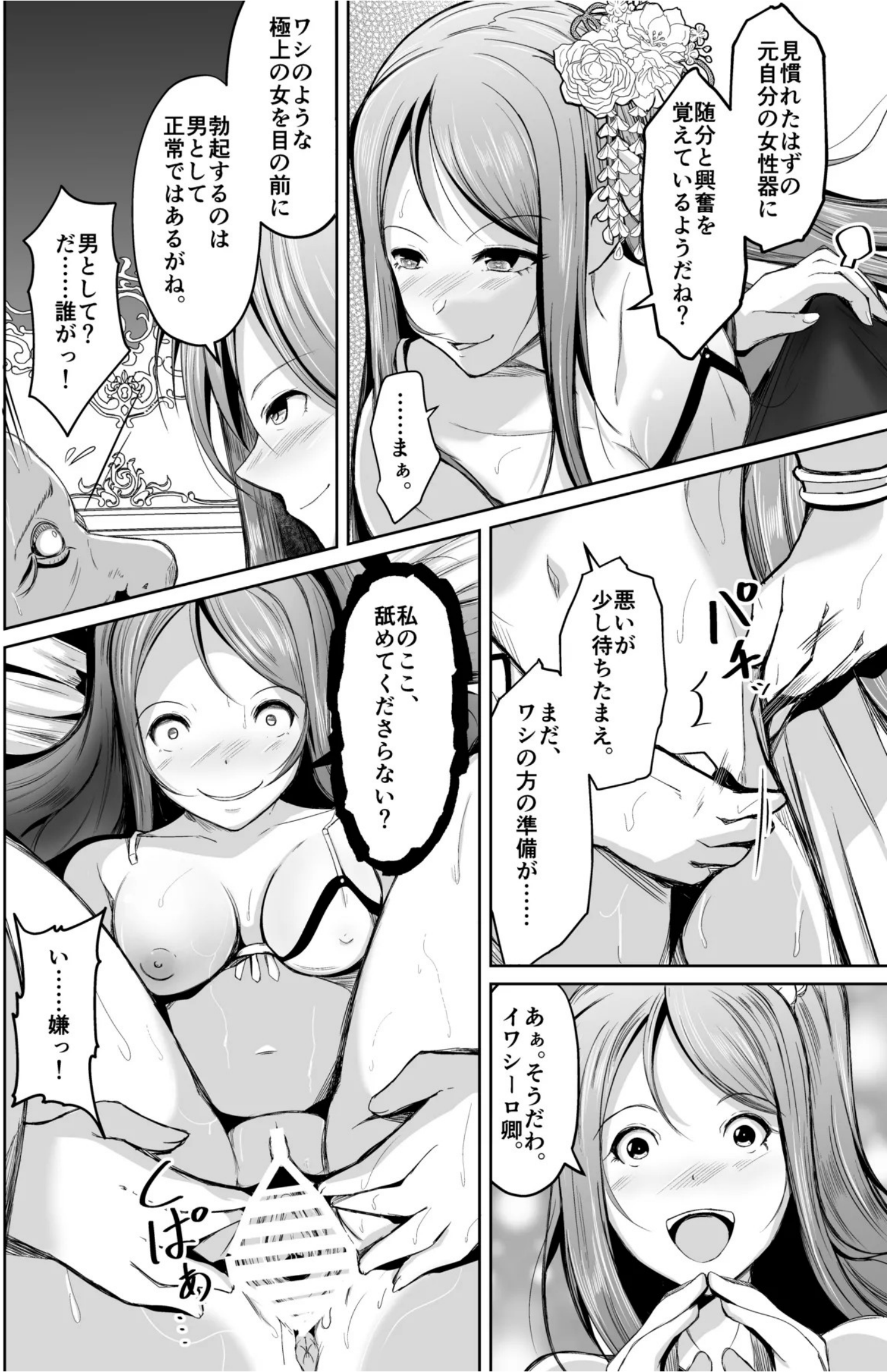
はぁ。
これが女の……
スラリと伸びた脚
程よい弾力の胸
ワシの憧れた
ラナ嬢の身体。
そして……

これが女性器……。
ついに自分のものに。
ハァ
ふひ。
ドキ
ドキ
ハァ
きゅん♡
きゅん♡
ワシは本当に
女になったのだな。
や……やめて。
クリッ
はっあああああっ！
ガク

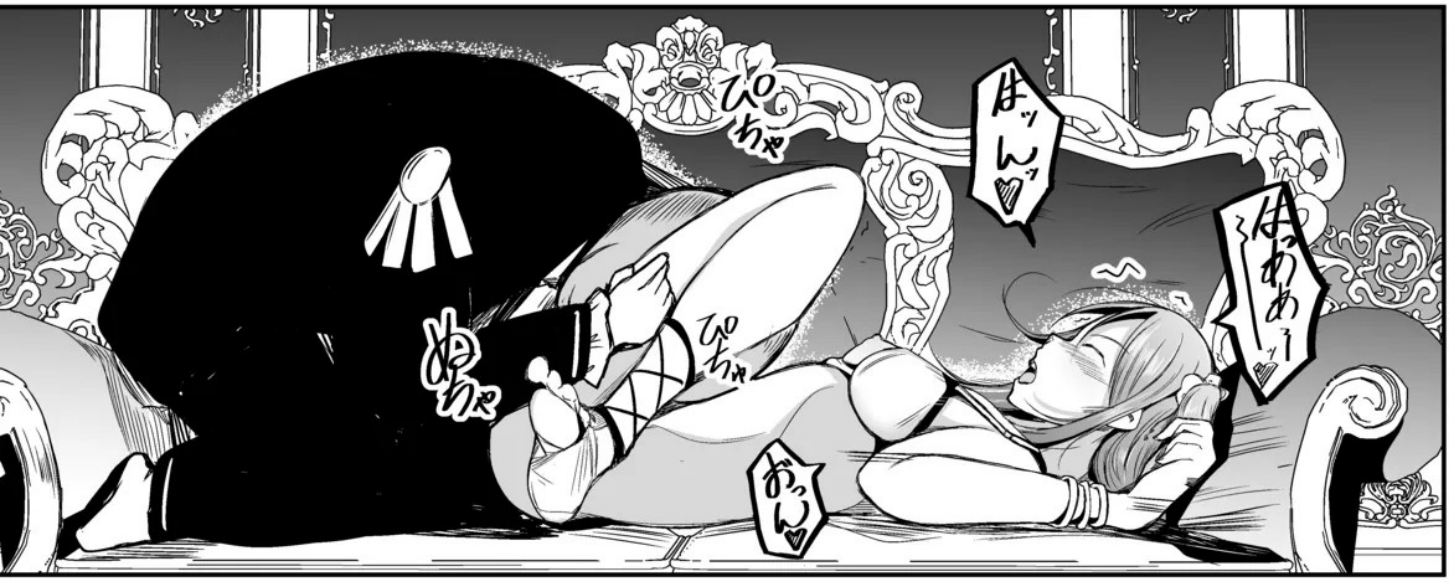

これ、
クリトリスか？
ペニスの快感を
一点に凝縮し
それを更に
濃密にしたような
なんという快感！


私、
どうしちゃったの？
何故？
自分の自慰を見て
興奮してるの？

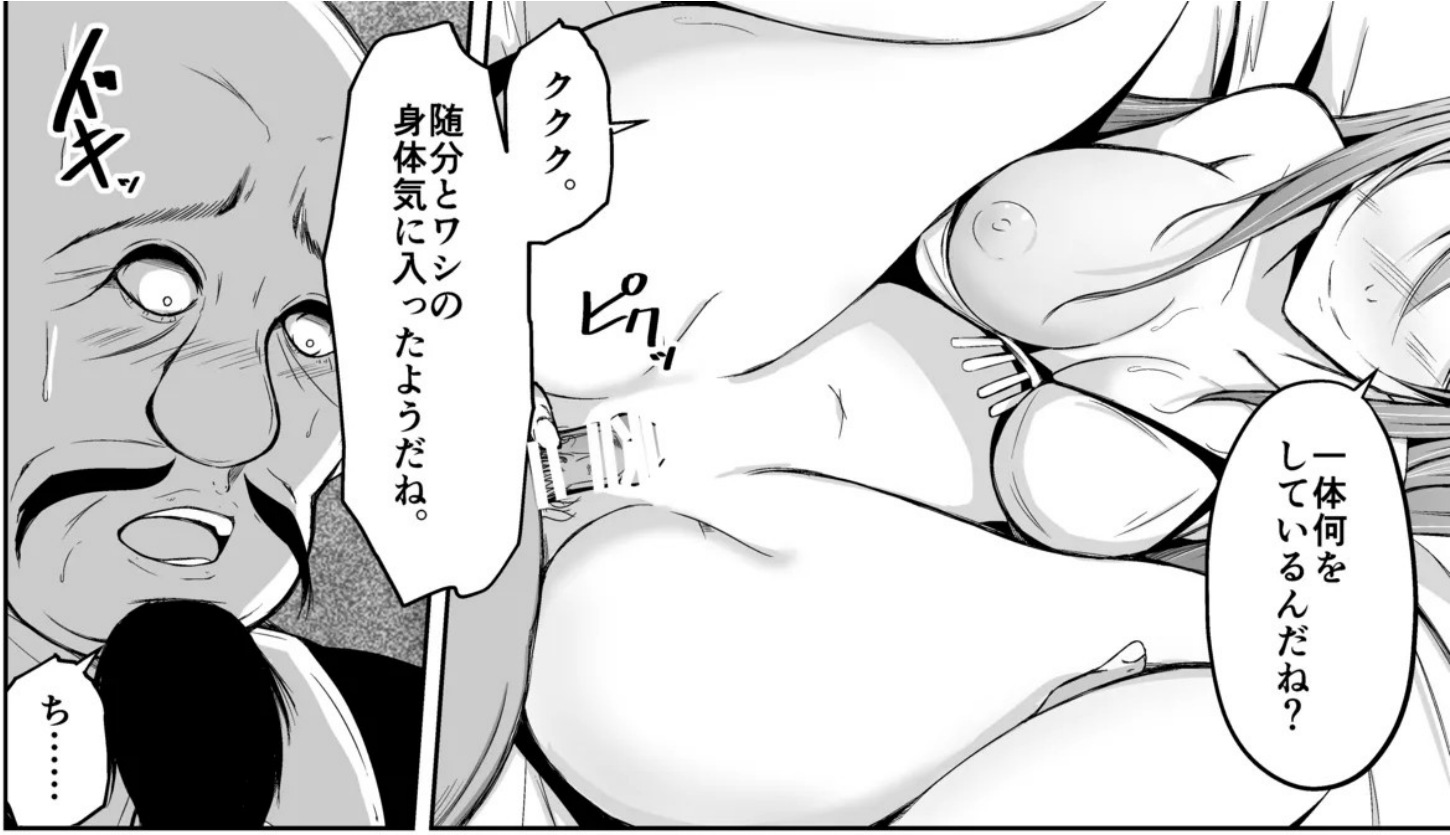

おやおや。
ラナ嬢。
……いや、
イワシーロ卿。

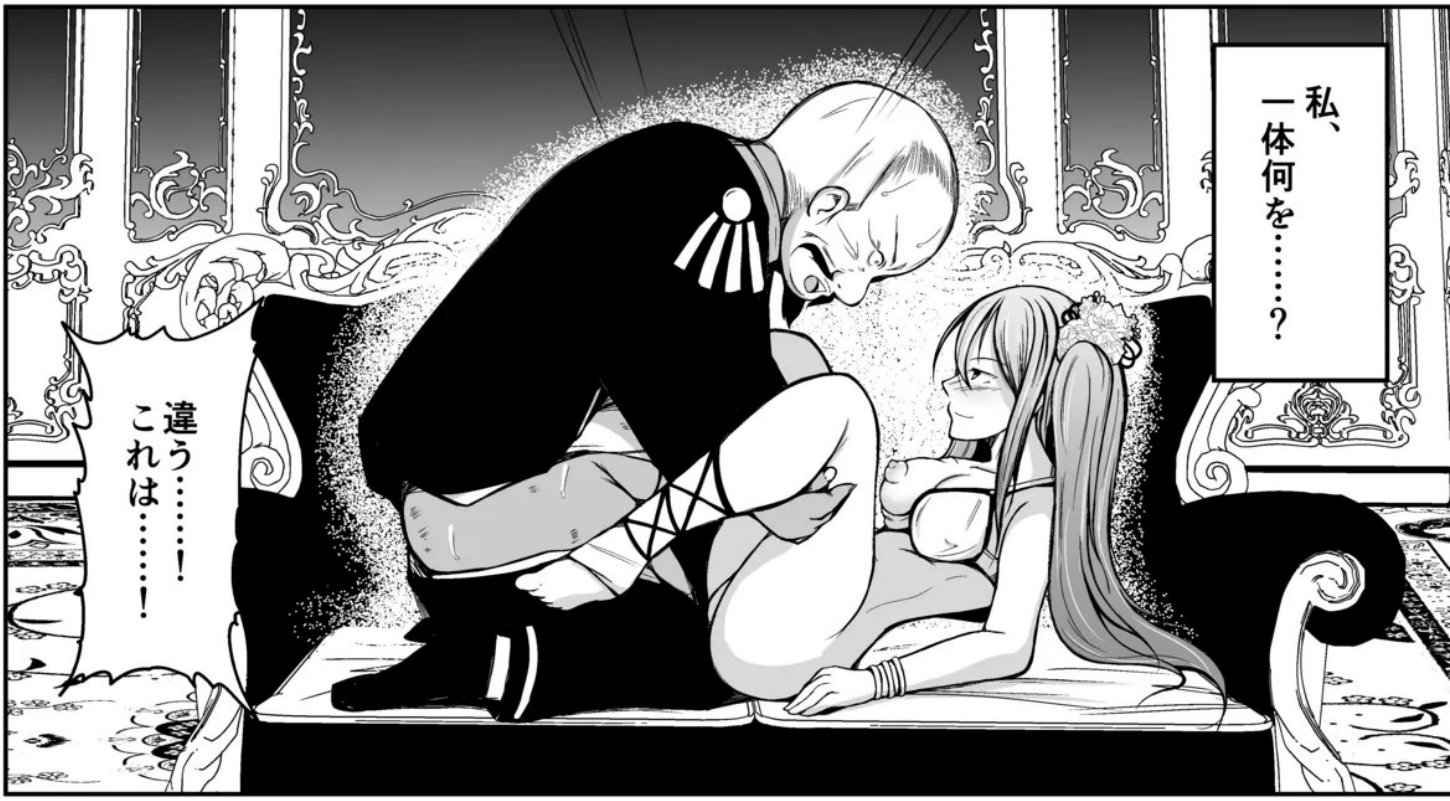

見慣れたはずの
元自分の女性器に
随分と興奮を
覚えているようだね？
……まぁ。
ワシのような
極上の女を目の前に
勃起するのは
男として
正常ではあるがね。
男として？
だ……誰がっ！
パイズリ
悪いが
少し待ちたまえ。
まだ、
ワシの方の準備が……
私のここ、
舐めてくださらない？
い……嫌っ！
しぱあ
あぁ。そうだわ。
イワシーロ卿。

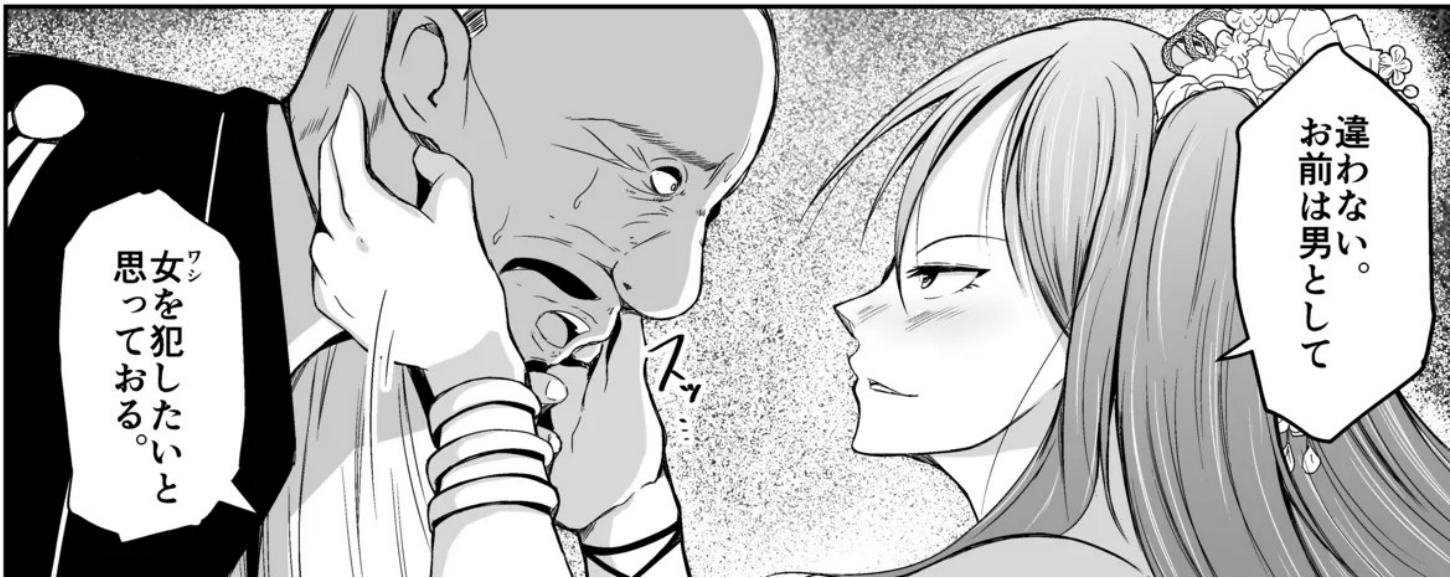
命令だ。
舐めろ。
わ……
わかりました。
どうして
こんな事に。


ぴちゃ
はッん♡
はぁあぁ～♡
ぬろ
ぴちゃ
おっ♡

ハァ
ハァ
ガク
ガク
た……たまらぬ！
先程とは異なる快感っ！
ぢゅぢゅ～♡
じゅロッ
はーっ
はーっ
カチャ


一体何をしているんだね？
ピクッ
ククク。
随分とワシの身体気に入ったようだね。
ビキッ
ち……


私、一体何を……？
違う……！これは……！


違わない。お前は男として
トッ
女(ワシ)を犯したいと思っておる。

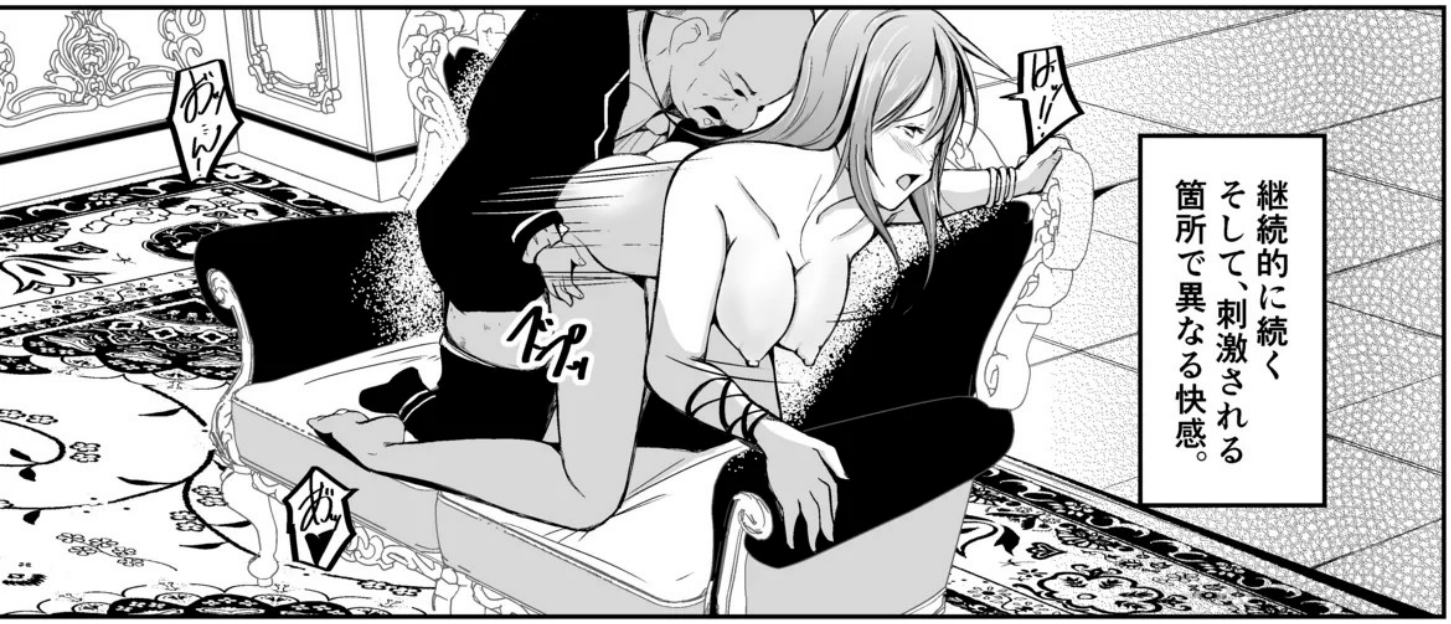
ククク。
心配せずとも
これからワシの身体を
存分に……んっ……楽しませてやるわ。
嫌……っ！
くくく。入ったぁ……っ……♥
ハァ
ハァ

ハァ
ハッ♥
おッ♥
おひぃーッ♥
ハーッ
ハーッ
おッ
んぁーッ
あ♥
ダメ
ハッ
ハッ
——もうダメ！

おッ
ハァ…
グズッ
自ら腰を振って……
お前も……んっ……男を
随分と楽しんでいる
ようだな……っ♥
パンッ
パンッ
バチッ
我慢できない！
――っ！
ガッ

ハッ
ハッ
ぁっ
ハッ
ハッ
ハッ

女の快感が
これ程とは……！
男であった事を
差し引いても
差があり過ぎる！


継続的に続く
そして、刺激される
箇所で異なる快感。

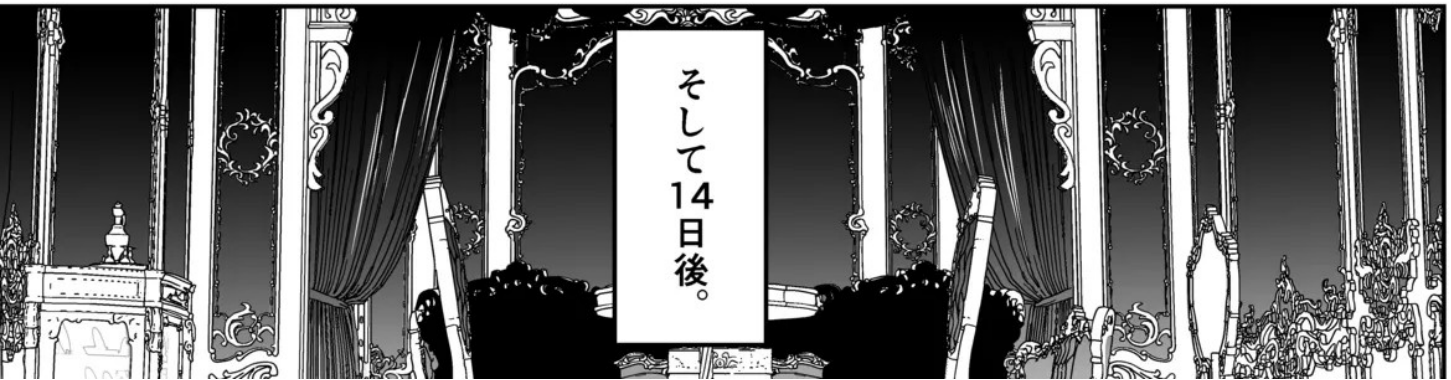
これが……
これこそが
何かくるっ！
股間が熱く……
出せ！
膣内に出せっ！
ワシも
イキそうだっ！
いや……
ダメ！

ワシの夢見た
女の絶頂！
んッ♥
あ♥
バ
私、なんて事を……。

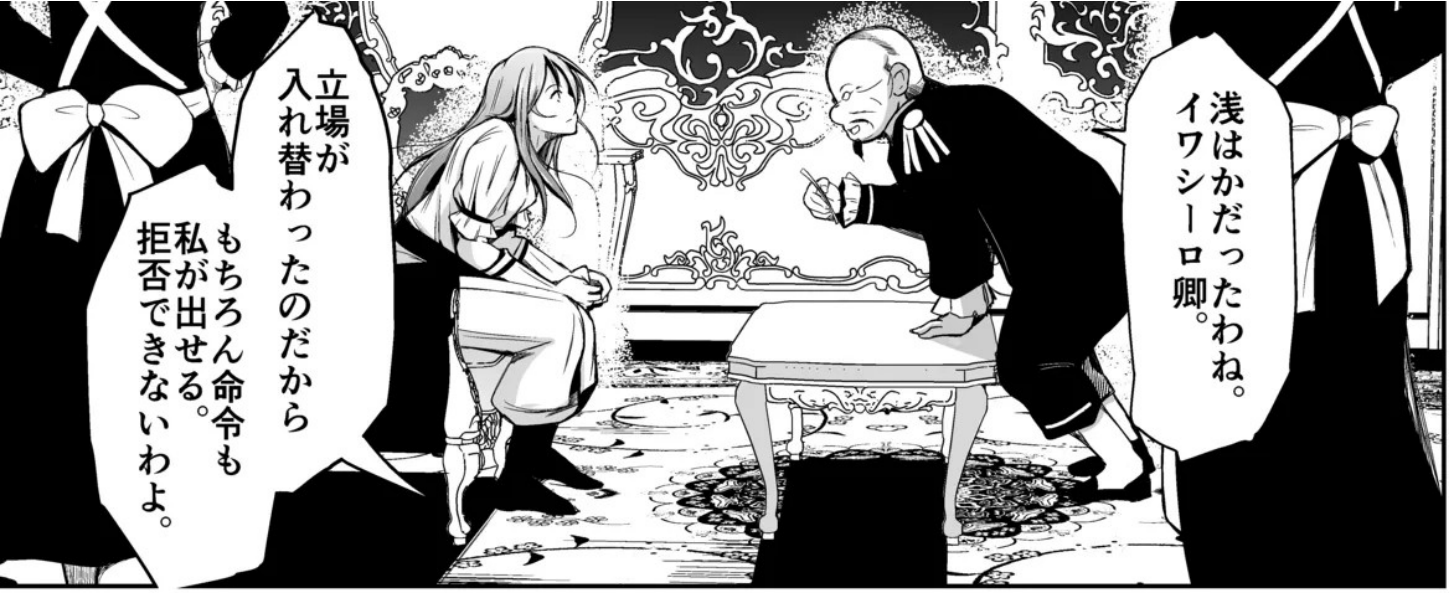
あの時、私は
どうかしていた。
一瞬でも男としての
欲望に溺れ
自分自身を
汚してしまった事を
酷く後悔した。

アイツの目を盗んで
財産をお父様の
元へと流した。

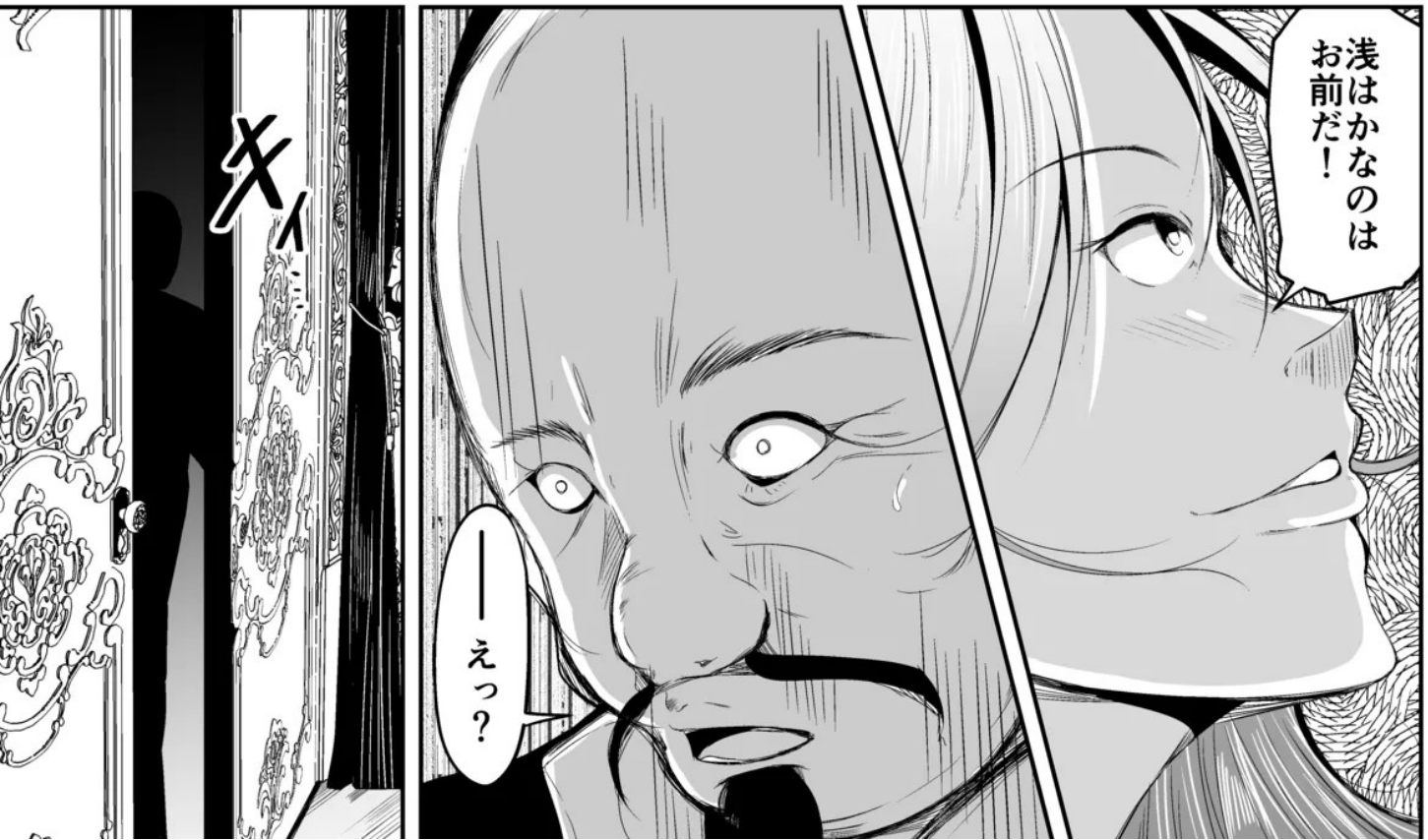
しかし今は
過ぎたことを
悔やんでいる
時間はない。
メイド達と連携し
私は


そして14日後。

これで主従関係も入れ替わりね。
私が名実ともに主人。
そうだな。
それでは早速命令をさせてもらうわ。
私と体を入れ替えなさい。
――なっ！


浅はかだったわね。
イワシーロ卿。
立場が
入れ替わったのだから
もちろん命令も
私が出せる。
拒否できないわよ。

ククク。
流石は
世間知らずの
お嬢様だな。


浅はかなのは
お前だ！
――えっ？
キィ

イワシーロ卿。
あなた様に国家転覆罪の容疑がかかっております。
クーデターを起こそうとしていた証拠が見つかりました。
そして、その罪をトラウ卿へ擦り付けていたことが発覚しました。
お父様に？
身体を交換されたのです！
ハッ
違う！私はイワシーロ卿じゃない！
アイツが本物のイワシーロ卿です！
そんな嘘が通用するとでも？

例え主従関係にあろうと、
容疑者の命令は
断る権利があります。
よって、
イワシーロ卿。
先ほどのあなたの命令
私は聞けません。

待って
そこのメイドに
聞いてください！
真相がわかります！
妙なことを
仰いますね。
そのメイド達が
言っているのですよ。
貴方がクーデターを
画策していると。

貴方たち最初から
これが狙いで！

連れていけ！
はっ！
いやっ！
やめてっ！

――「金」
ワシはアイツが
送った財産を回収し

そして
イワシーロ家が
没落した事で
その地位をより
強固なものとする。
無実の罪が証明された
トラウ卿は復権。

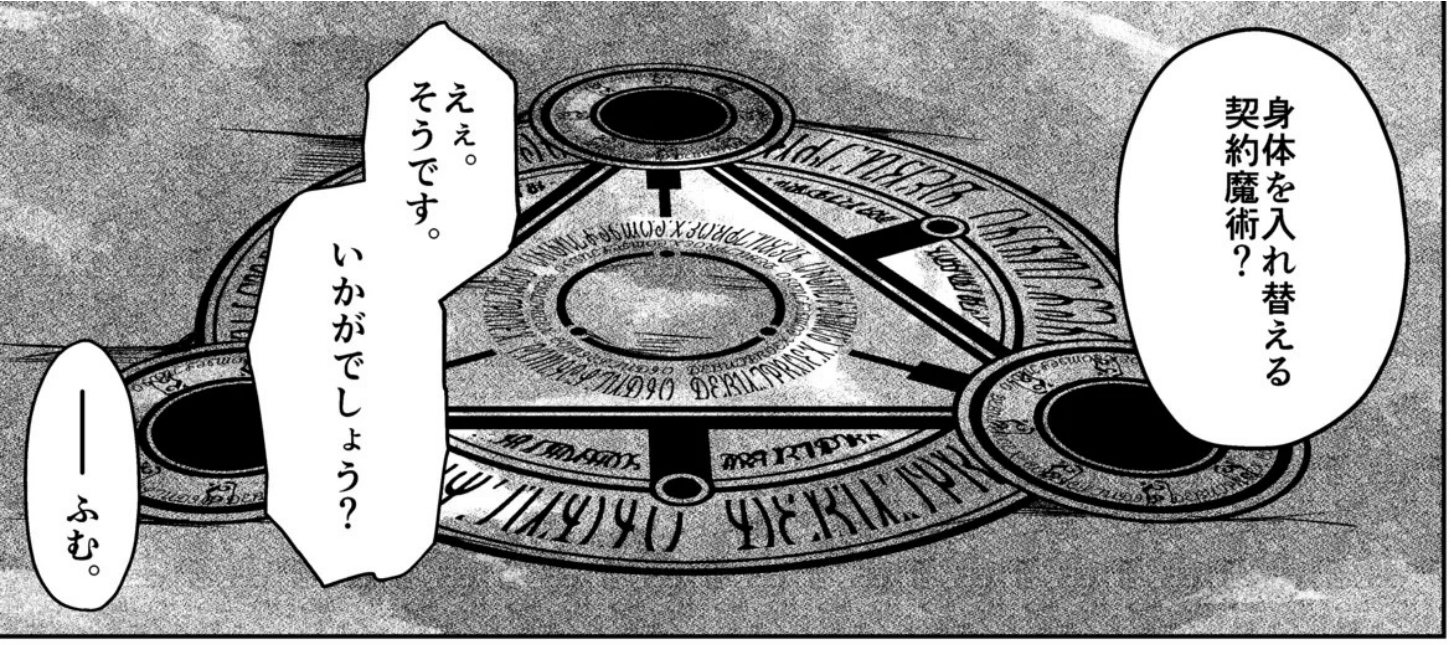
そして「美貌」――

「名誉」「家柄」

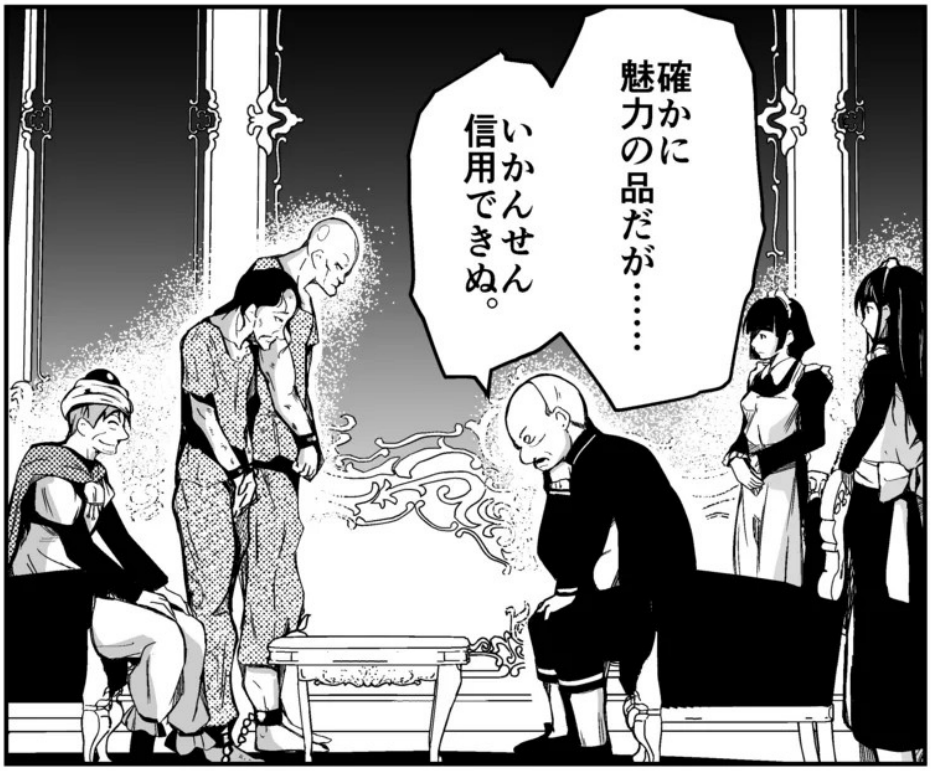
ただいま！
お父様！お母様！
全てを手に入れた！

貴族と奴隷の入れ替わり
～全てを手に入れた男～

Fanサイト
限定短編

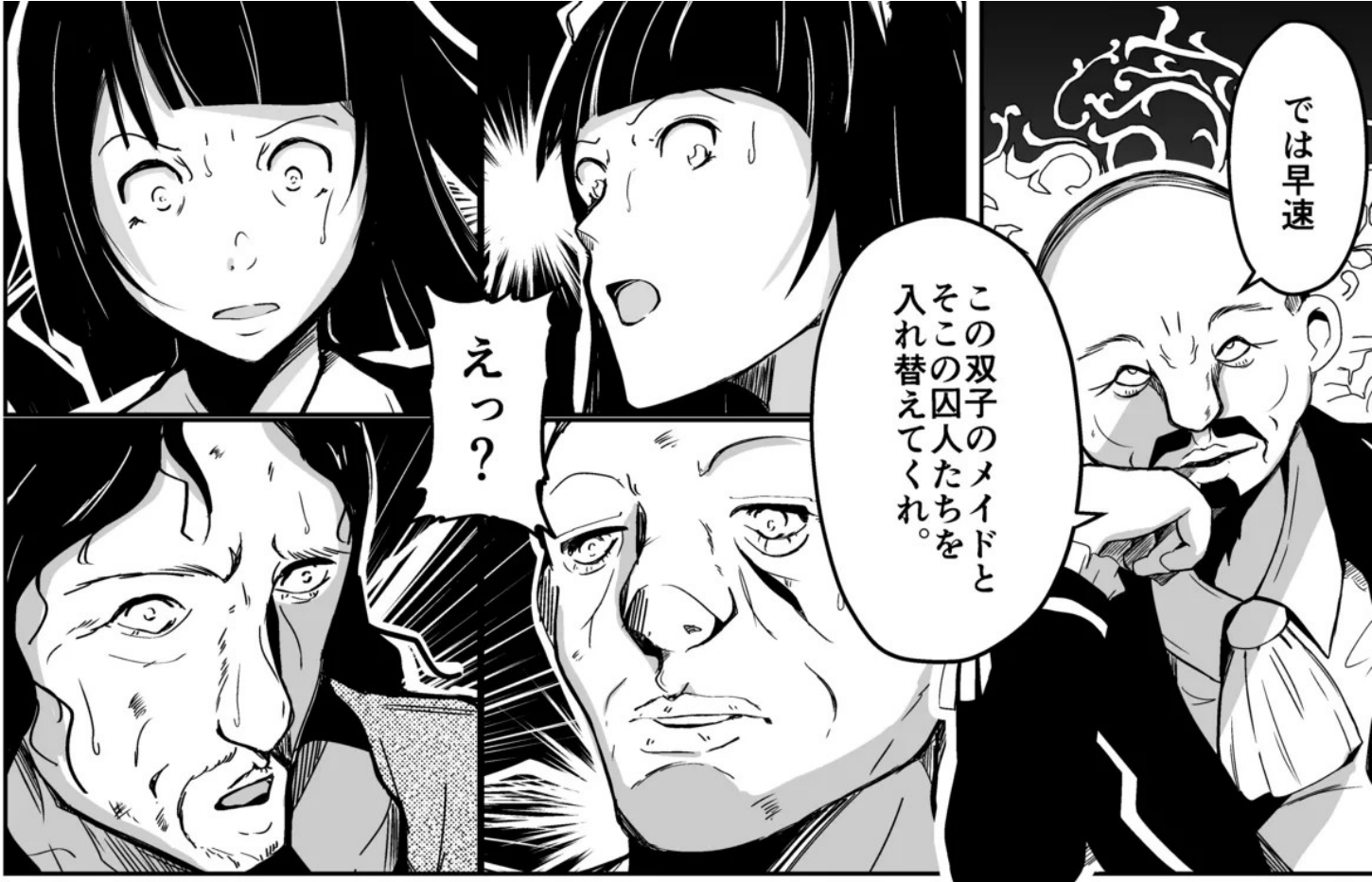

身体を入れ替える
契約魔術？
えぇ。
そうです。
いかがでしょう？
――ふむ。

……そうだな。

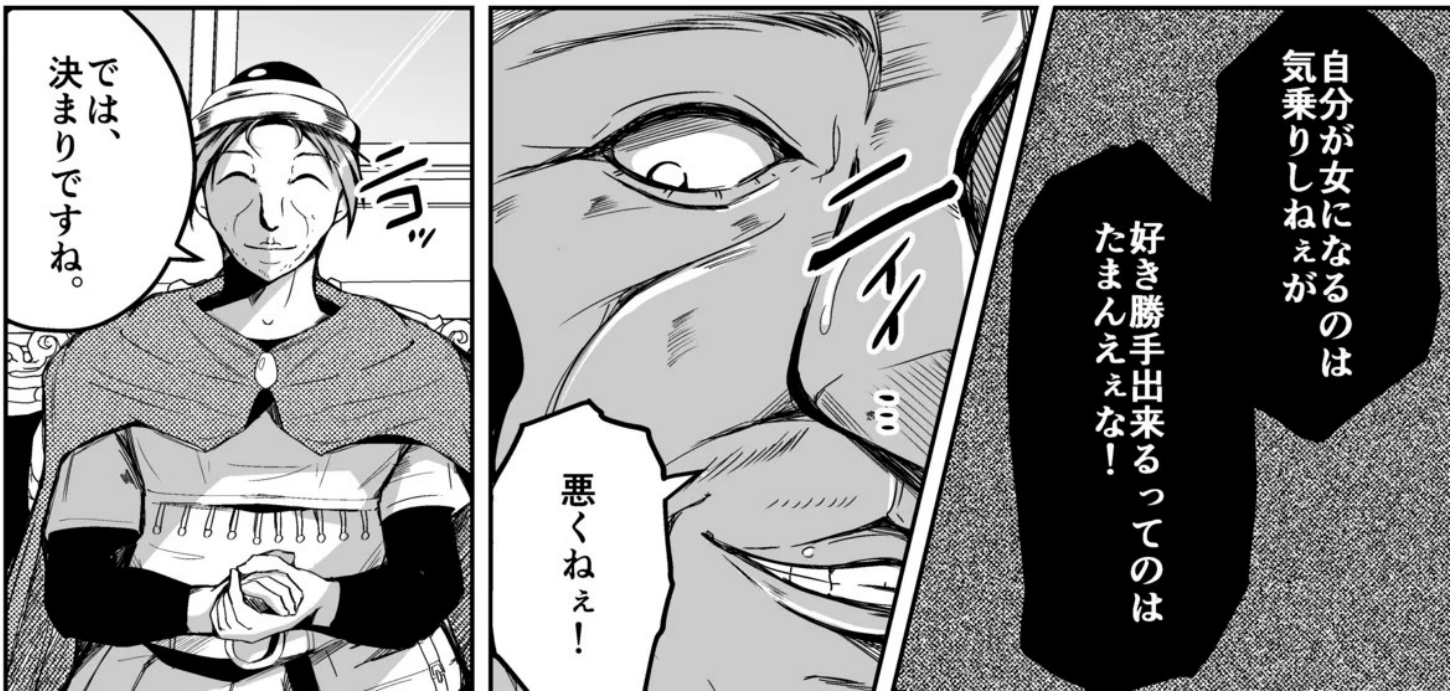

確かに
魅力の品だが……
いかんせん
信用できぬ。

実際に試して
いただけぬか？
もちろんです。
で、誰と誰を？

言わなくても
わかっているだろう？
そのために囚人を
連れ歩いて
いるのではないのか？
……
察しが良くて
助かります。


では早速
この双子のメイドとそこの囚人たちを入れ替えてくれ。
えっ？

どうだね？
君たちは刑を免れる。
ワシに仕える事になるが……
生活は保障するし、
何よりも女の身体を好き勝手出来る。
興味あるだろう？
ははっ！


自分が女になるのは気乗りしねぇが
好き勝手出来るってのはたまんねぇな！
イィ
悪くねぇ！
では、決まりですね。

そんな！
ご主人様！
何でもします！
それだけはっ！
ククク！
知った事か！
始めよ！
うはは！
ホントに女に
なってやがる！
なるほど。
……本物のようだ。
この魔術書は
囚人ごと買い取ろう。
即金とは
流石です！
さて、
お前達に
早速命令をする。
ありがとう
ございます。

兄貴ぃ……
それ……やべぇよ。
俺もだ。
たまんねぇな。
おッ♡
おッ♡
はぁんッ♡
ビクッ♡
ヒクッ♡
……それにしても
ヘンタイな
ご主人様だぜ！
おッ♡
こんなことを……
やらせる
なんてな……っ！
ふはは っ！
まさか……
俺たちに

どうだ？
男と比べて
女の快感
というものは。
女の身体
最高だぜぇ……
なぁ、兄弟。
ありがとよ！
ご主人様！
あぁ……っ
これは、
たまらねぇ……！

ビクビクッ！
……なるほど。
女の快感というものは想像以上かもしれぬな。
ハァハァ

お前たちにはこれから重大な任務を与える。
口封じにこいつらを自らの手で処分せよ。
ザッ
自らの手で自らを……
チャッ
たまんねぇ！
なぁ、その前にこいつらで遊んでも良いか？
……好きにせよ。
クククッ
本題はその後だ。
わしは、トラウ家を、……そしてラナ嬢の身体を手に入れる！
その手伝いをせよ！
しっかり働いて貰うぞ。
承知しました。ご主人様！

貴族と奴隷の入れ替わり～全てを手に入れた男～完全版
著者：いわした
pixiv:14897019
twitter:iwashitan
web:https://www.iwashitan.com

いわした書店